



# 琉

# 球

# 藍

# 染

# め

# 体

# 験



※イメージ  
今回はエコバッグになります。

あなたのオリジナルバッグを  
作ってみませんか？

琉球藍で  
エコバッグの染め体験！  
琉球藍独特の香りも  
楽しもう！



体験料  
**1,500円**  
(材料費込み)

※持ち込みの方は別途料金がかかりますのでご相談下さい

**要予約**  
定員30名



駐車場から会場までは  
看板でご案内させて  
いただきます。

講師：琉球かすり職人3名

2018. **2/17** 土

※当日は、汚れても良い衣服でご来場ください。

**時間** AM10:00 ~ PM13:00

**場所** 古民家謝名家 南風原町字本部200番地

**駐車場** 南風原町観光駐車場 (本部公園裏)

**主催** 一般社団法人 南風原町観光協会

**お問合せ** ☎098-851-7273 FAX.098-851-7109

Mail : chiiki-machidukuri@haebaru-kankou.jp

会場へのご案内



## ●●●●● 琉球藍 ●●●●●

琉球藍は、キツネノマゴ科の多年草植物です。台湾やインドなど東南アジア原産の植物ですが、日本では沖縄で栽培が可能です。

夏と冬に枝葉を刈り取って、泥藍をつくります。蓼科(タデ)科の藍とは異なり、山藍とも呼ばれるキツネノマゴ科に属する琉球藍は、藍葉を水に浸し泥状に沈殿させて造られています。

製法の起源はインドとされ、鮮やかな紫紺に発色します。藍は県内の染織に使われるだけでなく、全国的に人気を集めています。

琉球藍はかつて北部を中心に沖縄の各地で生産されていましたが、現在は本部町伊豆味の伊野波盛正(いのはせいしょう)氏だけが国の選定保存技術者として文部省より認定されています。



琉球藍



(薄紫色の筒状の花)



## ●●●●● 琉球絣と琉球藍 ●●●●●

琉球絣の大きな特徴はなんといっても約600種類もの多彩な図柄で、王府時代から伝わる「御絵図帳」みえずちょうをもとに、図案通りに織れるように計算し、糸の部分部分を色分けして予め染めておく先染めの技法は大変めずらしいものです。

南風原でも昔から琉球藍で糸を染色してきました。南風原の染織には必要不可欠な素材です。

近年、琉球藍は生産が落ちつつあり、現在では泥藍づくりを継承する人はごく僅かになっております。そんな琉球藍はとても貴重な染料であり、天然染料の中でも最高峰のものと言っても過言ではありません。



泥藍



藍甕